

平成21年度 行政視察報告書（産業経済常任委員会）

- 1 出張議員 目時睦男、岡崎健吾、白井二郎
佐々木隆徳、高田正俊
- 2 用 務 (1) 市政一般について
(2) 観光行政について
- 3 用 務 地 広島県廿日市市、広島県呉市
- 4 出張期間 平成21年5月19日（火）から5月22日（金）まで（3泊4日）
- 5 出張概要

(1) 広島県廿日市市（人口118,411人、世帯数47,823世帯、面積489.36km²）

(ア) 産業別就業人口（平成17年国勢調査）

- 1) 第1次産業 1,574人（2.8%）
- 2) 第2次産業 14,384人（25.5%）
- 3) 第3次産業 39,864人（70.8%）
- 4) 分類不能 481人（0.9%）

(イ) 平成21年度当初予算

- 1) 一般会計 40,200,000千円（うち議会費 341,923千円）
- 2) 特別会計 27,992,830千円（国民健康保険特別会計ほか13会計）
- 3) 企業会計 3,510,282千円（水道事業企業会計ほか2会計）

(ウ) 議会関係について

- 1) 議員定数 法定上限数 34人 条例定数 30人 現員数 30人
- 2) 常任委員会 総務常任委員会 10人 産業厚生常任委員会 10人
建設常任委員会 10人
- 3) 特別委員会 議会広報編集特別委員会 8人
- 4) 議員報酬 議長 500,000円 副議長 460,000円 議員 420,000円
(H21.4.1からH23.3.31までは、各5%の減額措置のため、
議長 475,000円 副議長 437,000円 議員 399,000円)
- 5) 党派別議員数 公明党 2人 共産党 2人 民主党 1人
社会民主党 1人 新社会党 1人 無所属 23人
- 6) 行政視察旅費 常任委員会 1人当たり年87,280円
議会運営委員会 1人当たり年87,280円
特別委員会 1人当たり年48,320円
海外視察については任期中に1回、1人当たり500,000円を
限度とする。
- 7) 費用弁償 本会議出席日額旅費 1,500円
委員会出席日額旅費 1,500円
- 8) 政務調査費 1人当たり年240,000円を会派に一括支給。（所属議員数が
1人の場合を含む）

(エ) 観光行政について

1) 体験型観光施設「宮島伝統産業会館」の概要について

①設置目的

宮島の伝統工芸品に関連する産業の振興並びに地域特産品等のものづくりの仕組みや歴史的背景を学習し、実際にもものづくりをする体験観光の推進を図り、地域活性化に寄与することを目的とし設置された。

平成20年4月19日にリニューアルオープンし、もみじ饅頭手焼き体験や杓子づくりもできるようになり、また、ロクロ細工研修室や宮島彫研修室が後継者育成の場として活用されている。

②施設概要

【愛称】 みやじまん工房

【管理者】 廿日市市

【開館時間】 9時から17時まで

【体験可能時間】 9時30分から16時30分まで

【休館日】 毎週火曜日（祝日の場合は翌日）、12月29日から1月3日まで

【入館料】 無料

【体験料金】 もみじ饅頭手焼き体験:735円/人、杓子づくり体験:315円/人

【体験対象者】 原則5人以上の団体、1回最大40人まで（要予約）

【体験申込】 利用月の1年前から予約開始、利用日の1週間前で予約締切

【各階の内容】

	内 容
1階	宮島伝統工芸品の展示及び販売スペース
2階	もみじ饅頭手焼き体験室及びロクロ細工研修室
3階	杓子づくり体験室及び宮島彫研修室

【もみじ饅頭手焼き体験】

地元のもみじ饅頭職人の指導のもと手焼き体験し、焼いたものはお茶を飲みながら食べることもできる。また、お土産として持ち帰ることもできる。

焼き時間は1個当たり約2分で、1団体当たりの所要時間は約1時間。

【杓子づくり体験】

荒削りしてある杓子をサンダーやサンドペーパー等で磨き、仕上げに焼印を自由に押してオリジナル杓子を作ることができ、お土産として好評である。

③施設利用状況について

平成20年4月にリニューアルオープンしたばかりということもあり、平成20年度の利用状況は、もみじ饅頭手焼き体験が約6,000人、杓子づくり体験が3,000人、販売・展示部門利用者が約1万人と当初見込みを大幅に上回った。

利用者の年齢層については、幼稚園児から80歳位と幅広く、利用団体の割合は修学旅行者が約40%で、企業団体、外国人、子供会が各約20%程度。

なお、今年度の予約が平成21年5月20日現在で、もみじ手焼き体験が約3,000人、杓子づくり体験が約1,500人となっており、今年度の利用者数は昨年度を上回る見込みである。

(2) 広島県呉市（人口 249,212人、世帯数 約113,343世帯、面積 353.32km²）

(ア) 産業別就業人口（平成17年国勢調査）

- 1) 第1次産業 4,419人（3.7%）
- 2) 第2次産業 33,987人（29.0%）
- 3) 第3次産業 77,274人（65.9%）
- 4) 分類不能 1,623人（1.4%）

(イ) 平成21年度当初予算

- 1) 一般会計 95,844,000千円（うち議会費 594,333千円）
- 2) 特別会計 54,472,379千円（交通災害共済事業特別会計ほか17会計）
- 3) 企業会計 31,844,055千円（病院事業会計ほか4会計）

(ウ) 議会関係について

- 1) 議員定数 法定上限数 38人 条例定数 38人 現員数 38人
- 2) 常任委員会 総務委員会 10人 民生委員会 10人
教育企業委員会 9人 産業建設委員会 9人
- 3) 特別委員会 幹線道路対策特別委員会 11人
行財政改革特別委員会 13人
- 4) 議員報酬 議長 660,000円 副議長 600,000円 議員 550,000円
(H21.4.1からH23.3.31までは、各5%の減額措置のため、
議長 627,000円 副議長 570,000円 議員 522,500円)
- 5) 党派別議員数 公明党 4人 民主党 2人 社会民主党 2人
共産党 1人 新社会党 1人 無所属 28人
- 6) 行政視察旅費 常任委員会 1人当たり年150,000円
議会運営委員会及び特別委員会
隔年で実施しており、1人当たり年105,080円
個人 1人当たり年200,000円
海外視察 平成20～24年度（財政集中改革期間）は休止
- 7) 費用弁償 1日2,000円（本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営
委員会、議会協議会、議案説明会または正副委員長会議に
出席した場合に支給。ただし、2以上の会議が同一の日に
開かれた場合は、1出席日とみなす）
- 8) 政務調査費 1人当たり月50,000円を年度の4半期ごとに会派に一括支
給。（所属議員数が1人の場合を含む）

(エ) 観光行政について

1) 呉市海事歴史科学館「大和ミュージアム」の概要について

①設置目的

明治以降、日本近代化の歴史そのものである「呉の歴史」と、その近代化の礎となった造船、製鋼を始めとした各種の科学技術を先人の努力や当時の生活・文化に触れながら紹介することにより、日本の歴史への理解及び平和の大切さについての認識を深め、また、科学技術創造立国を目指す日本の将来を担う子供たちの科学技術への興味と関心を高め、未来への夢と希望を抱くことができるような「呉らしい博物館」とすることにより、地域の教育、

文化及び観光等に大きく寄与すること。

②施設概要

【開館日】 平成17年4月23日

【構造】 鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造・鉄筋コンクリート造、4階建

【面積】 敷地面積 約10,334㎡、建築面積 4,817㎡、延床面積 9,628㎡

【1階、2階部分】

場 所	内 容
大和ひろば	全長26.3mもある10分の1戦艦「大和」が設置され、大和ミュージアムのシンボルとなっている。
大型資料展示室	人間魚雷「回天」などの貴重な実物資料を展示。
「呉の歴史」展示室	明治の歴史をパネルと現存する資料で紹介。
ミュージアム ショップやまと	大和ミュージアムならではの土産を販売。

【3階部分】

場 所	内 容
「船をつくる技術」 展示室	操船シュミレーターなど船を中心とした科学技術原理の体験・体感を通じ紹介。
「未来へ」展示室	宇宙戦艦ヤマトの作者松本零士氏の世界等を紹介
潜水艦展望テラス	向かいにある実物の潜水艦「あきしお」を展望可能。

【4階部分】

場 所	内 容
会議室、研修室、 市民ギャラリー	会議、研修、絵や写真の展覧会等を行える貸しスペース。
ライブラリー	船や歴史に関する資料を閲覧することができ、また、非公開の写真や図面、1階展示室の開設映像等をパソコンのデータベース検索可能。
展望テラス	ドック跡や呉湾を行き交うフェリーを展望可能。

【開館時間】

区 分	開館時間
常設展示室・ミュージアムショップ	9時から18時まで
ホール(多目的)・市民ギャラリー・会議室・研修室	9時から21時まで
ライブラリー	9時から17時まで

【休館日】 火曜日（火曜日が祝日の場合は翌日休館）

7月21日から8月31日と12月29日から1月3日は無休

【観覧料】

	個人料金	団体料金 (20名以上)
一般 (大学生以上)	500円	400円
高校生	300円	200円
小・中学生	200円	100円

③事業概要 (事業費内訳等)

事業費	約65億円	財 源	約65億円
・建物関連	約40億円	・国 (防衛施設庁)	約10億円
・展示関連	約20億円	・県補助金	約 5 億円
・屋外整備関連	約 5 億円	・宝くじ	約 2 億円
		・地方交付税	約13億円
		・募金委員会	約 6 億円
		・市負担分(起債、一般財源)	約29億円

④施設の指定管理及び利用状況について

【指定管理者】 大和ミュージアム運営グループ

代表者：凸版印刷 (株)

構成員：(株)トータルメディア開発研究所、(株)日本旅行、ビルックス(株)

【指定期間】 平成20年 4 月 1 日から平成24年 3 月31日まで

【指定管理料】

平成20年度から指定管理に移行し運営されており、初年度から3年間は指定管理料が0円で、逆に市に納付することとなっている。(平成20年度：約2,800万円、平成21年度：約580万円、平成22年度：約720万円)

なお、4年目は指定管理料が市から支払われることになっている。

【来館者数の推移】

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
来館者数 (人)	1, 614, 457	1, 179, 324	1, 089, 861	890, 842
前年度比 (%)	—	73.04	92.4	81.7

【来館促進のための取り組み】

ホームページ等の改訂や新聞等を活用した広報のほか、回天搭乗員の講演会や様々な企画展などイベントを実施し、また、JR西日本、観光関係団体、地元の教育機関、宿泊施設、飲食店等と連携し誘致策に努めている。

そして、常設展示観覧料が免除される友の会会員優待制度や障害者手帳の提示による特典等も設けている。